

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587036901	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	教育と文化 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	まとめの成果物及びその過程での記録 (40%) 授業ごとのレポート及び小テスト (45%) 授業への参加度・貢献度 (15%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	適宜、伝える。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美 / スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー, / いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について, 発達障害等野路同性との個別の支援について等 / 長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題 (不登校等) への理解
第4回	学校現場の諸問題 (いじめ等) への理解
第5回	学校現場の諸問題 (発達障害等) への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども (保護者) のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習 1 (問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習 2 (問題の深化)
第10回	課題解決のための演習 3 (問題とその対応についての発信)
第11回	発表 1
第12回	発表 2
第13回	振り返り 1
第14回	振り返り 2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587037301	科目番号 / Course code	05870373
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12321_006		
授業科目名 / Course title	教育と文化 (文学と社会) / Literature and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	カテゴリー「変容する環境とリテラシー」、テーマ名「A14 教育と文化」受講生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenhorii_nu outlook.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6階 6 1 1 番研究室		
担当教員TEL/Tel	kenhorii_nu * outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日午後, 木曜日 3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主題は西洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会・文化についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語文献を読むことから始まりますから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会や文化の特徴を学びます。そこから現代社会にまで受け継がれる文化や教養の特徴を考えます。		
授業到達目標/Course goals	古代ギリシアの政治または文化の特徴を自ら学び考え、現代社会と比較しながら説明できるようにする (?@, ?D, ?I, A, B)。英語による歴史叙述を読んで理解することができる (?A, ?G, ?H, A, B)。グループ内外で各種問題点に対する意見、考えを伝達しあいながら他者と協働をすることができる (?C, ?G, ?K, D)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	古代ギリシアに関する教養的知識の小テスト(40点), レポート(3×20点 60点)。合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	配布資料の英語文を予習として翻訳をしておく。事後に翻訳文, まとめレポートをLACSで提出する。		
キーワード/Keywords	古代ヨーロッパ、歴史、文化、英語圏の子供向け教材		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: J・ヒルトン, 白石朗訳『チップス先生, さようなら』新潮社(文庫), P・レベック『ギリシア文明?神話から都市国家へ』創元社。参考書: 伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』講談社, 山本茂他『西洋の歴史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房, 周藤芳幸『図説ギリシア?エーゲ海文明の歴史を訪ねて』河出書房新社, N・スパイヴィ『岩波 世界の美術 ギリシア美術』岩波書店, 逸身喜一郎『ソフォクレス『オイディプース王』とエウリーピデース『バツカイ』?ギリシャ悲劇とギリシャ神話』岩波書店。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。授業外学習に週平均2時間以上を充てること。ノートPC必須。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	初回に予習の仕方について案内文書を通じて示すので、それに従って予習をすること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	ガイダンス	F
第2回	Social Structureの翻訳の検討	B C
第3回	OfficeアプリOneNoteの使い方	F
第4回	社会階層のまとめ	A B
第5回	Democracy in Athensの翻訳の検討	B C
第6回	アテネ民主政のまとめ	A B
第7回	Learningの翻訳の検討	B C
第8回	学問のまとめ	A B
第9回	The theatreまたはSculptureの翻訳の検討	B C
第10回	劇場または彫刻のまとめ	A B
第11回	『チップス先生、さようなら』に見る西洋古典の教養	A B
第12回	西洋古典の教養の学習	B D
第13回	小テスト、現代人の教養としての古代ギリシア文化 1	A B
第14回	現代人の教養としての古代ギリシア文化 2	B
第15回	総合的まとめ?古代ギリシアと現代社会	B

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	教育と文化 (芸術) / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kankan_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 美術技術教室 2F 2 1 2		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期 金曜 12:00~12:30 (必ず事前にメールでの予約・確認が必要です)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	日常生活 (社会) に潜む芸術について説明や表現ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	5分の4以上の出席者を評価の対象とする。提出物 (作品やレポート等) 60%、受講の姿勢 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は授業時に説明 事後学習は、授業で行ったことをまとめておくこと、それに関連する本や資料等を各自で読んで おくこと		
キーワード/Keywords	工芸・美術 長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	各自が準備するもの 切り出し (カッターナイフは不可)、新聞紙、竹トンボの教材 (授業時に説明 教材費あり) デジカメ。教科書は使用しない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	実技を含むので定員は40名以内		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前学習を含め、作品制作のための材料・道具の準備や管理が確実にできること。 特に、切り出しの管理については注意すること。コンプライアンスを遵守すること (例えば、授業で 使い終わったら自宅で適切に保管すること。カバンに入れたままにしないこと。運搬の際は鞆に入 れて安全な状態で持ち運ぶこと等) 材料費は一人500円程度がかかります。業者の方に授業時に販売 してもらいますので詳細は授業時に説明します。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	今まで学んできた造形表現・図画工作・美術、工芸を振り返りながら、生活に潜む造形について発 見する力を開拓する。
第2回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞
第3回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞
第4回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞 ディスカッションや感想の発表
第5回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 長崎に關係する映画より 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞
第6回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 長崎に關係する映画より 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞
第7回	第5回鑑賞、第6回鑑賞について ディスカッションと発表
第8回	竹トンボ(1) アイデアスケッチ&飛ぶための要点
第9回	竹トンボ(2) 道具を使つての制作 手で考える
第10回	竹トンボ(3) 道具を使つて制作 素材を考える
第11回	竹トンボ(4) 道具を使つて制作 道具の使い方を再考する
第12回	竹トンボ(5) 道具を使つて制作 まとめ
第13回	竹トンボ(6) 鑑賞と講評 ―飛ばしてみて―
第14回	ペイント・マッチ
第15回	発表 まとめ・レポートの提出